

教科目名 建築学概論 (Introduction to Architecture)

学科名・学年 : 土木工学科 4年

単位数など : 選択 1単位 (前期1コマ, 学習保証時間 22.5時間)

担当教員 : 後藤勝雄

授業の概要			
建築のデザインと安全性を中心に建築学の概要を学ぶとともに、建築空間の認識を目的に演習を通して建築設計(二次元)や建築模型(三次元)で表現する方法を体験する。また、ビデオ学習により建築デザインの紹介を行い建築空間の認識を理解する。			
達成目標と評価方法		大分高専目標(B2)	
(1) 建築空間の構成とその安全性について理解する。(課題) (2) 建築の標準的な図面表現の方法を理解する。(課題) (3) 設計演習や建築模型の製作を通して、建築の仕組みや建築学の体系を理解する。(課題) (4) 建築用語と各部位について理解する。(定期試験と課題)			
回	授業項目	内容	理解度の自己点検
1	1, 建築学とは、建築学の大系	デザイン性と安全性を持つ建築の概略を理解する。 ゼネコンの仕組みと建築設計の本質について理解する。	【理解の度合い】
2	2, 演習 (建築空間と構造)	紙を用いたデッキプレートの作成 (自重と積載荷重を考える。)	
3	3, 演習 (建築空間とデザイン)	紙を用いた立体構成 (折り紙建築の製作。)	
4			
5	4, 住宅 (住宅空間の構成) ゾーニングと動線	日本の住宅様式、インテリア、ダイニングキッチン(住宅図面を読む) (ゾーンと動線の重要性を理解する。)	
6	5, 住宅 (高齢者とバリアフリー)	高齢者と住まい、高齢化時代の安全設備	
7	6, 演習 (二世帯住宅の設計)	住宅を平面図で作成 (建築の図面表現方法を実践し理解する。)	
8	7, 演習課題 の解説	コンセプトと図面表現について講評をおこなう。	【理解の度合い】
9	8, 日本の建築家と作品紹介	大分の建築作品、磯崎新、安藤忠雄	
10	9, 演習 (住宅の模型)	演習 で作成した二世帯住宅を立体的に模型に仕上げる。 (平面図、立面図、断面図の図面の整合性を理解する。)	
11			
12			
13			
14			
15	前期期末試験		【試験の点数】
	前期期末試験の解答と解説		点
履修上の注意	講義：毎回資料を配布します、試験は資料からの出題となりますので、必ずファイリングしておくこと。 演習：欠席等で、定められた時間内に完成できなかった場合は、宿題となることがあります。		【総合達成度】
教科書	なし		
参考図書	なし		
関連科目	構造力学 , 構造力学 , 公園緑地計画		
総合評価	達成目標の(1)~(4)について定期試験と課題で評価する。課題(70%)と試験(30%)で100%とする。総合評価が60点以上を合格とする。		